

血管造影撮影装置 DSA



血管造影撮影装置

【検査の特徴】

× 線透視画像で確認しながら、カテーテルという細い管を血管に挿入し病気の検査・治療を行う装置です。

循環器領域では、主に心臓の冠動脈の検査や治療、及びペースメーカーの挿入などを行っています。

腹部領域では、悪性腫瘍の栄養血管を塞栓死滅させる治療や、出血している血管をつめて止血したり、できる限り低侵襲的方法で治療を行っています。

【装置の特徴】

- DSA
(Digital Subtraction Angiography)
この機能は、造影剤投与の前後の画像を差し引くことにより血管のみを鮮明に映し出す手法です。
- DA (Digital Angiography)
この機能は、動きの速い心臓の冠動脈や左心室をボケの少ない鮮明な画像で映し出すために1秒間に30コマという高速で撮影する手法です。



操作室